



JAPAN P&I NEWS

外航組合員各位

中東情勢について（その4）

サウジアラビアのコレスポンデント Mutual Marine Services Al Mushtaraka Ltd.から、米国およびイスラエルによるイラン攻撃に伴う中東情勢に関する2026年3月12日時点の最新情報を得ましたので、ご案内します。

ホルムズ海峡の状況

現在も閉鎖されています。

各国の港湾状況

アラブ首長国連邦 (UAE) : 全ての港が稼働しています。

オマーン : ドクム (Duqm) とソハール (Sohar) は稼働しています。サララ (Salalah) は攻撃を受け閉鎖されています。

カタール : 各港は稼働しています。

クウェート : 全ての港が稼働しています。

イラク : イラクのウム・カスル港外 (OPL) において、3隻の船舶からの火災発生の報告を受け、当該海域では緊急事態が続いています。この影響により、サーベイヤーが沖合での調査のために錨地へ向かうことができない状況です。現地の保安および安全状況を鑑み、錨地方面への移動が一時的に制限されています。

バーレーン : 操業を停止しています。

サウジアラビア : ペルシャ湾側の全ての港が稼働しています。紅海側の諸港については、現在は影響を受けておらず、通常どおり稼働しています。

事態は極めて流動的かつ予測困難です。全ての商業的指示に優先して、船員の安全 (Crew Safety) および本船のセキュリティ (Vessel Security) を最優先した行動をとってください。

最新情報が入り次第、随時アップデートを提供いたします。

以上